

令和2年度 県土整備部環境配慮事例報告書

位置図・平面図等

事業主管課	河川整備課
実施機関	県土整備部(阿南)

【事業の概要】

事業の種類	河川・ダム等の整備	河川事業
事業箇所名	阿南市	
事業の規模・状況	6500 m	小規模事業a 設計段階

【事業の目的及び概要】

福井川水系の河川整備では、『うるおいと親しみを与えるふるさとの川』を目標として、関係機関や地域住民と連携を図り、水系一貫とした河川整備を行うとともに、治水・利水・環境に係る施策を総合的に展開する。

【検討した環境要素の一覧及びRDBの有無、モニタリングの要否】

大気	騒音・振動	水環境	地形・地質等	生物多様性	景観	自然とのふれあい	文化財	廃棄物	温室効果ガス等	RDB種の有無	モニタリングの要否
				○				○		○	○

【特に配慮した環境要素と検討事項】

事業実施箇所において、オヤニラミやシオマネキ(徳島県版RDB:絶滅危惧Ⅰ類)他多数の希少種が確認されていることから、護岸の工法や、河床掘削の進め方について環境アドバイザーに助言を求めている。
事業の実施に当たり、護岸については、環境配慮型護岸工法を採用し、干潟部河床掘削については、希少種の保護、自然移動を目的として段階を踏んだ施工を行うように環境アドバイザーより提言をうけ、施工計画の策定を行った。

【目標に対する達成状況】

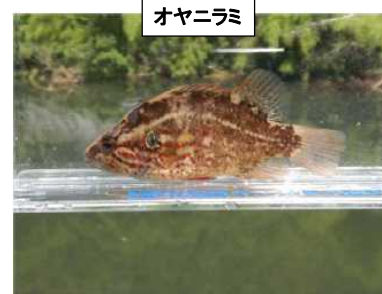
希少種の保護のため、工法、施工計画などを環境アドバイザーの提言を反映し策定した。

【検討事項に対する評価】

実施者	今後、モニタリング調査を継続し、必要に応じて対応措置を行うことで、さらに希少種の自然移動、保護の効果を高めていく。また、モニタリング調査で得られた知見を整理し、今後の保全措置に反映していく。
主管課	福井川では希少種であるオヤニラミを始め、多様な動植物が生息していることから、工事完了後も、環境調査や希少種のモニタリング調査を実施し、生態系の把握に努める事が重要。
専門家	干潟部の河床掘削については、施工を分割し、第1期施工後にモニタリング調査を行うことが望ましい。モニタリング調査の結果から必要に応じて第2期施工時にシオマネキの巣穴付近の底質(砂泥)と生息するシオマネキの一部を第1基施工時に創出した環境に移すなどの対応を検討するとよい。



写真、図面等



オヤニラミ



シオマネキ

